

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ぐりーんバス運行事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	都市計画課			
施策	1-8	利便性と快適性を重視した公共交通機関の整備充実		主管課長	長橋 祐之			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	主に公共交通空白地域（駅徒歩圏外地区）の市民	意図	交通不便地域の市民に対し、最寄り駅との交通手段を確保することで交通利便性の向上を図る。
事業内容	ぐりーんバスの路線設定、ダイヤの管理を行う。また、既存路線についても利用の向上が図られるよう必要な対応・工夫を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	平成17年8月のつくばエクスプレス開業による市内公共交通体系の変化及び路線バスが再編成されるとともに、既存市街地と駅を結ぶぐりーんバスを導入しており、現在、5路線の運行を行っている。今後、事業の需要予測及び費用対効果等を考慮しながら、段階的に整備を進めていく。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		利用者数（年間）	722,015	742,233	736,328	人	
	1日当たり利用者数	1983.60	2033.50	2022.90	人	↑↑↑	
	路線数	5	5	5	路線	↑↑↑	
	停留所設置数	93	93	93	カ所		
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						・平成28年度は年間利用者数が減少しており、流山おおたかの森駅周辺の整備が進展したことにより、交通広場が暫定的に移設されたこと等が影響したと考えられる。
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		56,231,198	56,046,311	54,780,875			
事業費（b）（円）		46,052,598	42,916,511	44,147,675			
うち一般財源		46,052,598	42,916,511	44,147,675			
職員給与費(c)(円)		10,178,600	13,129,800	10,633,200			
人役・職員(人)		1.40	1.70	1.50			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		0.30	0.30	0.30			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H28)の改善計画	費用対効果の検証、経路周辺の土地利用や住環境を考慮した路線の検討に合わせて、バス利用促進のための取り組みを行う。	取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ルートによっては利用者数が減少している。 ・バス路線開設の要望がある一部地域において、収支率の観点から路線開設を見送っている。
今年度(H28)に実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・南流山地域における新規路線開設に向けた準備を行った。 ・バス利用促進に向け、「おさんぽマップ」を作成した。 	今後の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から運行開始する新規路線を含め、バスの利便性向上と利用促進に努める。 ・地域に適した交通手段の検討を行う。